

第66回出演者

五味 俊哉 (ごみ としや)



経歴

1968年山梨県甲府市生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。中高在学中のクラブ活動を通じてアンサンブルの楽しさを知る。

大学卒業後の1992年、地元の老舗市民オーケストラ「鎌倉交響楽団」に入団し、翌年コンサートマスターに就任。以来、約30年以上の永きに亘り“鎌響の顔”として活躍中。

また、2015年より関東を中心としたアマチュアオーケストラメンバーによって結成された「ミハラシンフォニカ」のコンサートマスターを兼任、その他幾つかのアマチュアオーケストラにゲスト・コンサートマスターとして客演している。

近年は室内楽の分野にも注力し、「アンサンブル花音（逗子市桜山）」コンサートの開催は既に25回以上を数える。加えて「MUSIK SPIELEN シリーズ（鎌倉市大船）」のプロデュースや、古都鎌倉の神社仏閣・各地の施設からの依頼演奏会などの地域貢献活動など、会社勤務の傍ら、趣味として多彩な音楽活動を展開している。

1974年より神奈川県鎌倉市在住。

来場される方へのメッセージ

本日は、バッハの名曲を数曲演奏させていただきます。

バッハは、3曲の無伴奏ヴァイオリンソナタと3曲の無伴奏ヴァイオリンパルティータを今から約300年前の1720年に作曲しています。

今日ではヴァイオリン独奏の楽曲として古今の名作の一つに数えられ、バッハの天才の技が光るものすごい小宇宙のような作品です。

限られた時間ですが、是非お楽しみください。